

<p>【技術の名称】                  0-RCS構法                  ー端部RC中央S造複合構造梁構法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-16号                  性能証明発効日：2013年9月25日                  【取得者】                  株式会社 大林組</p>
--	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造（RC造）の柱に接続する梁を、端部をRC造・中央部を鉄骨造（S造）とする複合構造梁により構築する構法である。降伏ヒンジは、RC造端部とS造端部（RCとの切り替え部分）のいずれかに設けることができ、端部のRC部分の補強を十分に施すことで、S造端部にヒンジを形成した場合に、S造としてのエネルギー吸収能力を確保出来る。

【技術開発の趣旨】

本技術は、工期や施工費用の制約条件の下で、大スパン架構を実現するための構法の一つとして開発された。高剛性の柱をRC造とし大スパンを構築する梁をS造とすると同時に、梁端部をRC造としたことにより、柱梁接合部（および柱）を純RC造として施工可能となる。そのため、柱をプレキャスト化することが容易となり、施工の短工期化も実現が可能である。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「0-RCS 構法 設計施工要領」に従い、設計・施工された端部RC中央S造の複合構造梁は、「同 設計施工要領」で提示している許容耐力、終局耐力を有し、使用限界時に使用上支障となるひび割れ等の損傷を起こさず、損傷限界時に修復性を損なうひび割れ等の損傷を起こさない。また終局時において「同 設計施工要領」で提示している変形性能を有している。

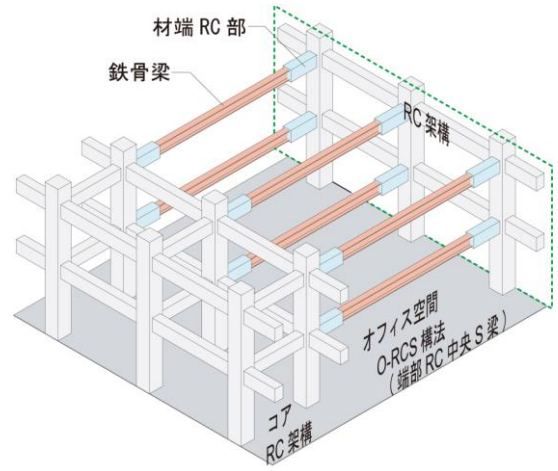


図1 架構の模式図

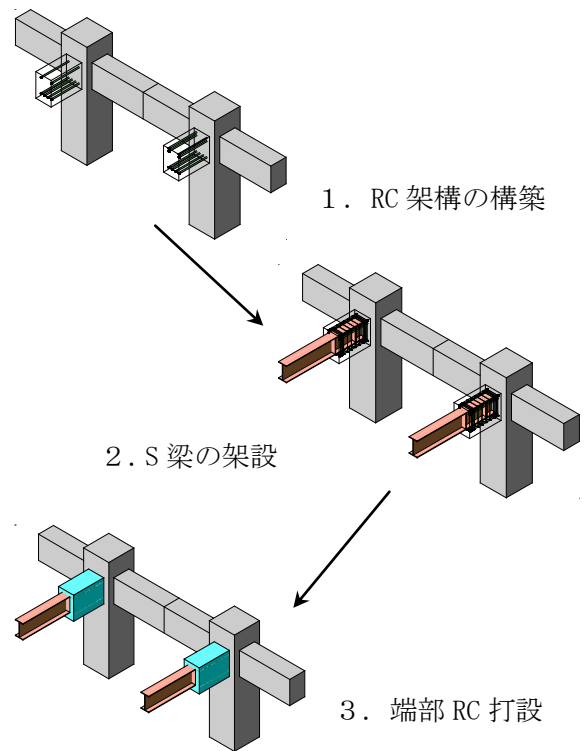


図2 施工手順

【本技術の問合せ先】

株式会社 大林組 技術研究所 担当者：杉本訓祥  
 〒204-8558 東京都清瀬市下清戸 4-640

E-mail：sugimoto.kuniyoshi@obayashi.co.jp  
 TEL：042-495-1029 FAX：042-495-0904